

emath を利用してみる

栗野 俊一*

2012/06/12

1 emath を使う準備

先頭の所に `\usepackage` を沢山入れる。

2 emath を使ってみる

2.1 分数

`¥bunsuu` というのがあるらしい。`¥frac` と何が違うのか試してみよう。

$$\text{¥frac}\{3\}\{4\} = \frac{3}{4}$$

$$\text{¥bunsuu}\{3\}\{4\} = \frac{3}{4}$$

確かに、ちょっと違うかな。

2.2 約分

サンプルを参考に、約分の記号 (`¥yakubun`)^{*1} を使ってみた。

斜線の引き方に 2 種類、約分した後の数値を記述する位置に 3 通りの方法があり、デフォルトは元の数値の上下だそうだ。

斜線の向きは `[r]` オプションを付けると逆向きになるらしい。

¥yakubun

$$\text{\$}\text{¥yakubun}\{16\}\{6\}\{8\}\{3\}\text{\$} \quad \longrightarrow \quad \frac{\frac{8}{6}}{\frac{3}{8}}$$
$$\text{\$}\text{¥yakubun}\{r\}\{16\}\{6\}\{8\}\{3\}\text{\$} \quad \longrightarrow \quad \frac{\frac{16}{6}}{\frac{8}{3}}$$

やってみる。

* 日本大学理工学部数学科 講師 (kurino@math.cst.nihon-u.ac.jp)

*1 分数で、分母・分子の数値に斜線を引いて約分後の数値を記述するためのコマンド

$$\frac{6}{8} = \frac{2}{8} = \frac{2}{4}$$

なるほど。

次は、約分した数値を元の数値の右肩に乗せる場合。

¥yakubun<r>

$\$yakubun<r>\{16\}\{6\}\{8\}\{3\}\$$	→	$\frac{16^8}{8^3}$
$\$yakubun[r]<r>\{16\}\{6\}\{8\}\{3\}\$$	→	$\frac{16^8}{8^3}$

試してみよう。

$$\frac{6}{8} = \frac{6^2}{8^4} = \frac{6^2}{8^4}$$

ふむふむ。

最後は、約分した数値を元の数値の左肩に乗せる場合。

¥yakubun<l>

$\$yakubun<l>\{16\}\{6\}\{8\}\{3\}\$$	→	$\frac{8}{3} \frac{16}{8}$
$\$yakubun[r]<l>\{16\}\{6\}\{8\}\{3\}\$$	→	$\frac{8}{3} \frac{16}{8}$

できるかな？

$$\frac{6}{8} = \frac{2}{4} = \frac{2}{4}$$

納得。